

機体活用プロジェクト『空恋』

くにさき

「世界農業遺産の里 国東号」就航決定！

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋洋)で取り組む機体活用プロジェクト『空恋～空で街と恋をする～』におきまして、大分県として第 1 号となる国東市の「世界農業遺産の里 国東(くにさき)号」が、12 月 3 日(火)*に初フライトを迎えます。

初フライト当日は、大分空港において、就航記念セレモニーを 88 便(大分発 09:00 羽田着 10:25)出発前に予定しております。*就航開始日は機材状況等により前後する場合があります。予めご了承ください。



機体活用プロジェクト“空恋”
くにさき
「世界農業遺産の里 国東号」

大分県国東市は、国東半島の東部に位置し、瀬戸内海を望む風光明媚な街で、県の空の玄関口・大分空港があります。

また 2013 年 5 月には、国東市を含む国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定され、この土地ならではの農耕及び食文化が今もしっかり継承されています。

その国東市の PR マスコットキャラクターである国東半島に太古の昔より住む妖精「さ吉くん」が大分県の世界農業遺産の里として県内外に PR をするべく、今回の機体モチーフとなっています。

ソラシド エアの機体活用プロジェクト『空恋』は、地域振興を目的としています。1 機体 1 自治体を基本に、1 年間機体側面に地名を表示すると共に、機内では各自治体独自の 방법으로 PR していただきます。

ソラシド エアでは、“空から笑顔の種をまく。”のブランドコンセプトのもと、今後とも「九州・沖縄の翼」としてより一層地域のみなさまとの絆を深め、九州・沖縄にはなくてはならないエアラインへと成長してまいります。